

## 平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月12日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 レイ  
 コード番号 4317 URL <http://www.ray.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 分部 至郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中村 準三

TEL 03-5410-3861

四半期報告書提出予定日 平成23年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	6,379	19.0	550	757.7	506	—	276	573.6
22年2月期第3四半期	5,360	△20.3	64	△81.7	31	△90.5	41	△63.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	21.72	—
22年2月期第3四半期	3.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	5,395	1,987	36.2	153.48
22年2月期	4,791	1,730	35.6	133.82

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 1,954百万円 22年2月期 1,704百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,750	4.2	300	44.9	250	70.1	130	4.8	10.21

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期3Q 14,328,976株 22年2月期 14,328,976株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 1,591,727株 22年2月期 1,591,687株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期3Q 12,737,267株 22年2月期3Q 13,049,289株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	6
【第3四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	13
(1) 制作、受注及び販売の状況	13

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績等に一部改善の兆しが見られはじめ、緩やかな回復基調にあります。不安定な世界経済や為替相場からくる景気の後退懸念等から今後の景気の先行き不透明感が払拭されておりません。

当社グループの主要な市場である広告業界においても、TVCMのスポット広告が増加する等、一部改善の兆しが見られはじめている分野もあるものの、景気の先行き不透明感が払拭できない中、広告主各社の広告支出への慎重な姿勢は継続しており、先行きは未だ不透明であります。

このような環境のもと、当社グループは当連結会計年度を飛躍のための足固めの一年目として位置付け、組織強化を中心とした諸施策の更なる徹底を図ってまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、6,379百万円（前年同期比19.0%増）、営業利益は550百万円（同757.7%増）、経常利益は506百万円（同1,500.7%増）、四半期純利益は276百万円（同573.6%増）となりました。

当社グループの事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

広告ソリューション事業のSP・イベント部門におきましては、第3四半期連結会計期間にあたる秋の時期が、イベント、展示会等の繁忙期で、大型展示会案件等の受注もあり業績は堅調に推移致しました。TVCM部門におきましても、第2四半期までの不調を補完するまでには至っておりませんが、TVCM業界の事業環境に一部改善の兆しが見られはじめたことから、第3四半期連結会計期間の業績は堅調に推移致しました。

この結果、広告ソリューション事業は売上高2,884百万円（前年同期比23.0%増）、営業利益290百万円（同164.3%増）となりました。

テクニカルソリューション事業におきましては、映像機器レンタル部門、ポストプロダクション部門ともに、上述のように事業環境の改善の兆しが見られはじめたこと等により、イベント・展示会等における機材レンタル業務やCM編集業務を中心に業績は堅調に推移致しました。

この結果、テクニカルソリューション事業は、売上高3,495百万円（同15.9%増）、営業利益562百万円（同108.2%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12.8%増加し、4,239百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が30百万円減少したものの、現金及び預金が234百万円、売掛金が159百万円、たな卸資産が107百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて11.8%増加し、1,156百万円となりました。これは主に、出資金が43百万円減少したものの、有形固定資産が177百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて12.6%増加し、5,395百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11.4%増加し、3,306百万円となりました。これは主に、前受金等その他流動負債が59百万円、賞与引当金が54百万円減少したものの、未払金が167百万円、未払法人税等が139百万円、買掛金が134百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9.1%増加し、102百万円となりました。これは、長期借入金が4百万円減少したものの、リース債務が12百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.3%増加し、3,408百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて14.9%増加し、1,987百万円となりました。これは主に、配当により25百万円減少したものの、四半期純利益の計上276百万円により利益剰余金が251百万円増加したことによるものであります。

#### キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて186百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末は、1,670百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、406百万円(前年同期比11.3%減)となりました。

これは主に、売上債権の増加額が194百万円、たな卸資産の増加額が107百万円、賞与引当金の減少額が54百万円ありましたが、税金等調整前四半期純利益510百万円及び減価償却費125百万円の計上、仕入債務の増加額が134百万円があったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は103百万円(同46.2%増)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出79百万円及び出資金の払込による支出36百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は67百万円(同62.7%減)となりました。

これは主に、リース債務の返済による支出30百万円、配当金の支払額24百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期通期業績予想に関しましては、現在集計および精査中であり、明らかになり次第速やかに発表いたします。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産の減価償却については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法によっております。

#### ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 2 月 28 日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,670,367	1,435,416
受取手形	122,172	85,929
売掛金	2,077,303	1,917,847
たな卸資産	281,569	173,665
繰延税金資産	—	30,470
前払費用	70,183	78,406
その他	28,566	47,079
貸倒引当金	△10,952	△12,025
流動資産合計	4,239,210	3,756,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	296,091	294,926
減価償却累計額	△175,632	△150,557
建物及び構築物 (純額)	120,459	144,369
機械装置及び運搬具	929,250	729,328
減価償却累計額	△569,675	△518,316
機械装置及び運搬具 (純額)	359,574	211,011
工具、器具及び備品	248,605	201,375
減価償却累計額	△185,290	△165,547
工具、器具及び備品 (純額)	63,314	35,827
土地	332	332
リース資産	181,762	128,656
減価償却累計額	△41,082	△13,057
リース資産 (純額)	140,679	115,598
有形固定資産合計	684,360	507,138
無形固定資産		
ソフトウェア	26,819	19,168
その他	7,854	7,865
無形固定資産合計	34,673	27,033
投資その他の資産		
投資有価証券	50,394	60,698
出資金	23,876	67,457
長期貸付金	5,038	5,048
破産更生債権等	80,896	84,631
長期前払費用	44,236	46,107
敷金及び保証金	189,216	189,226
繰延税金資産	128,769	136,045
その他	900	900
貸倒引当金	△85,935	△89,680
投資その他の資産合計	437,394	500,437
固定資産合計	1,156,428	1,034,610
資産合計	5,395,638	4,791,400

(単位：千円)

	当第 3 四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 2 月 28 日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	874,856	739,862
短期借入金	1,600,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	8,340	16,664
リース債務	47,207	34,360
未払法人税等	151,165	12,088
賞与引当金	82,944	137,275
繰延税金負債	6,095	—
未払金	303,859	136,093
未払消費税等	42,413	46,835
未払費用	86,841	72,179
預り金	81,722	91,655
その他	20,840	80,595
流動負債合計	3,306,286	2,967,610
固定負債		
長期借入金	—	4,174
リース債務	102,155	89,494
固定負債合計	102,155	93,668
負債合計	3,408,442	3,061,279
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	472,806	472,806
利益剰余金	1,286,865	1,035,718
自己株式	△273,676	△273,671
株主資本合計	1,957,139	1,705,995
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,169	△1,530
評価・換算差額等合計	△2,169	△1,530
新株予約権	32,225	25,655
純資産合計	1,987,195	1,730,120
負債純資産合計	5,395,638	4,791,400

## (2) 四半期連結損益計算書

【第 3 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 3 月 1 日 至 平成21年11月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 3 月 1 日 至 平成22年11月30日)
売上高	5,360,052	6,379,395
売上原価	3,785,188	4,299,386
売上総利益	1,574,863	2,080,009
販売費及び一般管理費	1,510,644	1,529,206
営業利益	64,218	550,802
営業外収益		
受取利息	30	93
受取配当金	1,543	1,540
未払配当金除斥益	710	—
その他	1,128	1,041
営業外収益合計	3,412	2,675
営業外費用		
支払利息	20,363	20,234
持分法による投資損失	4,660	—
出資金運用損	—	17,926
その他	10,947	8,549
営業外費用合計	35,972	46,709
経常利益	31,658	506,768
特別利益		
保険解約返戻金	23,036	24,212
貸倒引当金戻入額	—	2,179
その他	1,069	—
特別利益合計	24,105	26,392
特別損失		
有形固定資産除却損	2,456	1,442
投資有価証券売却損	—	743
投資有価証券評価損	1,863	—
出資金評価損	—	7,410
過年度損益修正損	—	13,385
特別損失合計	4,320	22,981
税金等調整前四半期純利益	51,444	510,179
法人税、住民税及び事業税	6,356	189,796
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△9,903	—
法人税等調整額	13,909	43,760
法人税等合計	10,362	233,557
少数株主利益	17	—
四半期純利益	41,063	276,622

## 【第 3 四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結会計期間 (自 平成21年 9 月 1 日 至 平成21年11月30日)	当第 3 四半期連結会計期間 (自 平成22年 9 月 1 日 至 平成22年11月30日)
売上高	1,826,263	2,606,411
売上原価	1,240,272	1,725,220
売上総利益	585,990	881,191
販売費及び一般管理費	476,553	524,334
営業利益	109,437	356,857
営業外収益		
受取利息	0	—
受取配当金	35	35
その他	219	109
営業外収益合計	254	144
営業外費用		
支払利息	6,654	6,543
貸倒引当金繰入額	3,410	—
出資金運用損	—	2,012
その他	2,913	2,924
営業外費用合計	12,978	11,480
経常利益	96,713	345,521
特別利益		
保険解約返戻金	23,036	24,212
その他	416	—
特別利益合計	23,452	24,212
特別損失		
有形固定資産除却損	760	—
投資有価証券評価損	1,863	—
出資金評価損	—	2,310
過年度損益修正損	—	13,385
特別損失合計	2,624	15,695
税金等調整前四半期純利益	117,542	354,038
法人税、住民税及び事業税	304	137,493
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△9,903	—
法人税等調整額	28,406	18,874
法人税等合計	18,807	156,367
四半期純利益	98,734	197,670

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	51,444	510,179
減価償却費	95,344	125,670
長期前払費用償却額	1,876	1,871
株式報酬費用	7,528	6,570
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	7,323	△4,817
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△86,428	△54,330
受取利息及び受取配当金	△1,573	△1,633
未払配当金除斥益	△710	—
支払利息	20,363	20,234
出資金運用損益 (△は益)	—	17,926
持分法による投資損益 (△は益)	4,660	—
保険解約損益 (△は益)	△23,036	△24,212
有形固定資産除却損	2,456	1,442
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,183	6,503
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	743
出資金評価損	—	7,410
過年度損益修正損益 (△は益)	—	13,385
売上債権の増減額 (△は増加)	630,262	△194,602
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12,514	△107,904
仕入債務の増減額 (△は減少)	△149,612	134,994
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△24,221	12,647
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△28,092	△45,121
その他	5,426	1,057
<b>小計</b>	<b>503,681</b>	<b>428,012</b>
利息及び配当金の受取額	1,573	1,633
利息の支払額	△19,866	△20,887
保険解約返戻金の受取額	—	24,212
法人税等の支払額	△82,773	△50,956
法人税等の還付額	55,425	24,312
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>458,040</b>	<b>406,327</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△38,370	△79,206
ソフトウェアの取得による支出	△3,494	△12,689
出資金の払込による支出	△44,289	△36,000
出資金の回収による収入	18,136	21,945
長期前払費用の取得による支出	△4,989	—
敷金及び保証金の回収による収入	2,216	—
その他	△106	2,281
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△70,897</b>	<b>△103,668</b>

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,100,000	5,600,000
短期借入金の返済による支出	△5,200,000	△5,600,000
リース債務の返済による支出	△5,208	△30,285
長期借入金の返済による支出	△12,498	△12,498
自己株式の取得による支出	—	△4
配当金の支払額	△63,585	△24,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	△181,292	△67,708
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	205,850	234,950
現金及び現金同等物の期首残高	1,189,435	1,435,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,395,286	1,670,367

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成21年9月1日 至 平成21年11月30日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	689,801	1,136,461	1,826,263	—	1,826,263
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	114	67,966	68,080	(68,080)	—
計	689,915	1,204,428	1,894,343	(68,080)	1,826,263
営業利益	4,164	189,306	193,471	(84,033)	109,437

(注) 1 事業区分の方法

事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

当第3四半期連結会計期間(自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,210,877	1,395,534	2,606,411	—	2,606,411
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	102	119,443	119,546	(119,546)	—
計	1,210,980	1,514,977	2,725,957	(119,546)	2,606,411
営業利益	210,271	249,228	459,500	(102,643)	356,857

(注) 1 事業区分の方法

事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

## 前第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,345,581	3,014,470	5,360,052	—	5,360,052
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	364	197,796	198,160	(198,160)	—
計	2,345,945	3,212,267	5,558,213	(198,160)	5,360,052
営業利益	109,746	270,037	379,784	(315,565)	64,218

- (注) 1 事業区分の方法  
事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。
- 2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

## 当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

	広告ソリューション事業 (千円)	テクニカルソリューション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,884,178	3,495,217	6,379,395	—	6,379,395
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,742	244,648	248,390	(248,390)	—
計	2,887,920	3,739,866	6,627,786	(248,390)	6,379,395
営業利益	290,091	562,230	852,321	(301,519)	550,802

- (注) 1 事業区分の方法  
事業は取扱品目の類似性を考慮して区分しております。
- 2 各区分に属する主要な事業内容

事業区分	主要事業内容
広告ソリューション事業	映像を中心とした企画制作、コマーシャル制作
テクニカルソリューション事業	デジタル映像機材を駆使した演出、各種映像のデジタル加工

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

**【海外売上高】**

前第3四半期連結会計期間(自平成21年9月1日至平成21年11月30日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日)  
海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結会計期間(自平成22年9月1日至平成22年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)  
海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

**(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日)  
該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 制作、受注及び販売の状況

## ① 制作実績

当第3四半期連結累計期間における制作実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比(%)
広告ソリューション事業	1,740,611	26.1
テクニカルソリューション事業	2,668,403	10.3
合計	4,409,015	16.0

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 金額は、総製造費用によっております。  
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
広告ソリューション事業	2,989,250	5.3	1,032,829	△22.7
テクニカルソリューション事業	3,584,384	20.6	465,369	34.3
合計	6,573,635	13.1	1,498,198	△10.9

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
広告ソリューション事業	2,884,178	23.0
テクニカルソリューション事業	3,495,217	15.9
合計	6,379,395	19.0

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社電通テック	657,766	12.3	735,511	11.5
株式会社博報堂プロダクツ	596,229	11.1	731,420	11.5

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。